



6月11日は歯科検診です

10時に
始まります

6月4日から10日までは「歯と口の健康習慣」です。歯の衛生週間だったものが、歯だけでなく、口の中全体の健康増進を目指す目的で、2013年、55年ぶりに変更されました。食べ物を取り入れる器官である歯や口は、生きていくためには欠かせないものです。

歯や口を健康に保つことで、年をとっても元気に活動できる身体を維持できるのです。お子様の歯と口の「健康習慣」を見直すきっかけにしましょう。



こんな環境が虫歯になしやすい!

- ・冷蔵庫にいつもジュースや乳酸飲料を入れている
- ・おやつは歯に付きやすいスナック菓子が多い
- ・乳歯の虫歯は生えかわるからと放置している
- ・治療すれば虫歯は治ると思って、予防をしなかったり、子どもが嫌がると歯みがきを怠ってしまう
- ・フッ素を塗れば虫歯にならないと思っている
- ・仕上げみがきをしていない
- ・歯の検診をしない
- ・食事の時間を決めない
- ・子どもの言うままにお菓子を買い与える
- ・電車や車などに乗る時、おとなしくさせるために甘い物を持たせる



子どもだけではきちんとみがけない部分もたくさんあるので、スキンシップを兼ねて仕上げみがきをしたり、口の中をチェックしたりしましょう。

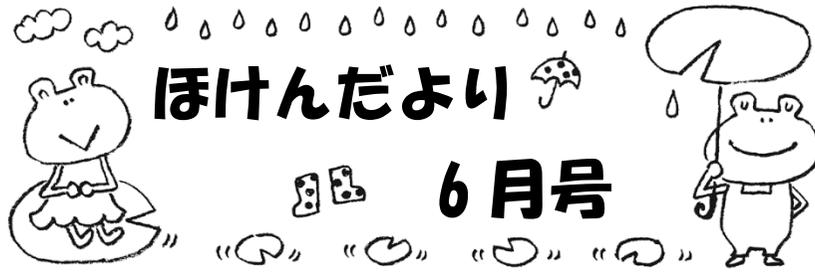
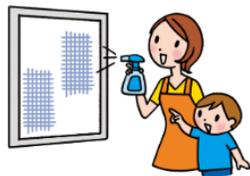


虫除け対策

子どもは皮膚の抵抗力が弱いので、虫刺されが原因で、とびひなどの皮膚病になってしまうことがあります。網戸に虫除けスプレーをしたり、虫の嫌う香りのローズマリーの鉢を置いたり、虫除けパッチやリストバンドを身に付けさせるなど、ご家庭でも簡単にできる虫除け対策を行いましょう。

(紛失防止のため、園にパッチやバンドはつけてこないでください)

また、外出時や登園前に虫除け(スプレータイプやウェットティッシュタイプなど)を行うのも効果的です。園での戸外遊びの際は、虫除けアロマスプレーを使用します。



令和2年6月1日 座間ゆめっこ保育園

6月に入りました。この時期は急に暑くなったり肌寒くなったりと、梅雨のジメジメとした環境で体調を崩しがちになってしまいます。バランスの良い食事や睡眠をしっかりととり、生活リズムを整えていくことが大切です。

日々の健康づくりで免疫力を高め、様々な病気を予防していきましょう。



6月17日は尿検査提出日です

腎臓病や糖尿病は初期症状が少ないために、本人が知らないうちに進行している場合があります。それを早期発見するために尿検査が必要となります。



6月25日は内科検診です

15時に
始まります

子どもたちの健康を守るため、また毎日を元気に過ごすために、年に2回、小児科の園医さんに診ていただきます。検診の結果は後日お知らせ致します。治療が必要な場合は、医師の診察を受けて、プールが始まるまでには治しておきましょう。



6月は、歯科検診・尿検査・内科検診と、予定が続いています。日程、提出日、時間をお間違えないようお願い致します。
※検査・検診と共に全園児対象です。



ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水泡、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱します。



手足口病

手のひら、足の裏、口の中に水泡ができ、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



夏にかかりやすい病気

プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化の良い物を食べましょう。



流行性角結膜炎

プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化の良い物を食べましょう。

水いぼ

ウイルス感染によってできる「水いぼ」の一種。水疱が体全体あるいは部分的に固まって発症します。患部をひっかいて「水いぼ」をつぶしたりしないようにしましょう。プール遊びが始まる前までに治しておきましょう。



あせも

汗の出る穴が詰まり、皮膚の内側に汗が溜まって炎症が起こる症状で、細かく赤い発疹が出ます。かゆみがある時は冷たいタオルで冷やすなどして、かかないようにしましょう。